

第4回 7月8日(金)～7月9日(土) 一流塾合宿

今回の一流塾は都会の喧騒を離れ、「中伊豆ワイナリーヒルズ」で合宿研修を行い、講師に渡邊五郎氏(森ビル(株)特別顧問、元三井物産(株)副社長)と白石真澄氏(関西大学政策創造学部教授)をお迎えしました。



講師 渡邊五郎氏



塾長 一柳



講師 白石真澄氏



講義風景

第1部の講義で、渡邊氏は、『リーダーのあるべき姿(その志と心)』と題し、リーダーが備えるべき条件として「先見性」「絶対価値の追求」「ノブリスオブリジュ」「エレガントカリスマ」「公正さと非情さー強い信念」「エンパワーメントとカデンツァ」「グッドリスナー・グレートコミュニケーターたれ」「志」等の10項目を挙げ、実体験を交えながらその必要性を説きました。塾生からは、「経験やエピソードに裏付けられた説得力のあるお話で非常に感銘した」、「人間味のあるウィットにも富んだリーダーシップ論で、幅広く研鑽に努めなければならないという動機づけとなった」、といった声が寄せられました。

第2部の講義は、一柳塾長から『ベンチャー政治家 田中角栄論』と題した講演を行いました。一柳塾長は田中角栄先生が通産大臣に就任されていた時に大臣秘書としてお仕えしており、角栄先生の言葉の分析から得られた、「異なる3点から情報をとれ」「まず、自分のアンサーを持って」等の教訓5カ条は企業経営に通じるものがある、と説きました。

また、角栄先生は人脈作りにも大変長けており、その秘訣をまとめた「角栄流 人脈作り 10カ条」を秘書時代の思い出を交えながら披露しました。塾生からは「角栄先生の魅力が人間力にあることを深く認識した」、「大きな志を持ち、国を想い、そのために如何に働くかという生き様に触れられて大変感銘を受けた」といったコメントがありました。

第3部の講義では、白石氏は、『明るい高齢社会とビジネスチャンス』と題し、わが国の超高齢化社会に向けての推移について触れ、問題点だけでなく、今後のビジネス創出に向けた新しい可能性といった前向きな動きとして、先進的な自治体や企業等の取組をご紹介頂きました。塾生からは、「ビジネスとしての成り立ちや高齢者雇用のチャンスも含め高齢化社会での可能性を感じた」、「詳細なデータや具体的事例が大変参考になった」、といった声が寄せられました。



集合写真



懇親会の様子



西川善文氏



六甲おろしの熱唱

2期や3期のOB塾生も参加した懇親会では、渡邊氏や白石氏から卓話を頂くとともに、ゲストに西川善文氏(三井住友銀行名誉顧問、元日本郵政社長、三井住友銀行元頭取)をお招きし、塾生からの公私にわたる様々な質問にお答え頂きました。また、塾生1分間スピーチの中でウィットに富んだスピーチや川柳等が披露された他、阪神タイガースファンの西川氏と塾生らが六甲おろしを熱唱する場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。

懇親会の後は、有志で塾長や西川氏、白石氏、合流した絹谷氏を囲んで深夜までまじめな話からやわらかい話まで、酒を飲みながら懇親して、集まった仲間の理解を一層深めました。

翌朝は、絹谷幸二氏(日本芸術院会員、洋画家)をお招きして、芸術と政治・経済のつながり等について卓話をご披露

頂きました。その後、ワイナリーを見学して、シャトーから望む広大な葡萄畑の眺めは塾生からも大変好評でした。



日本芸術院会員 絹谷幸二 氏



卓話に聞き入る塾生



ワイナリー見学